

サービス利用者名

UCC上島珈琲株式会社

サービス提供者名

国際航業株式会社

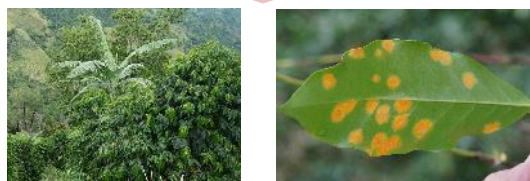
プロジェクト概要(200文字程度)

気候変動や感染症の世界的な流行が起こる中、遠隔からの生産地のモニタリングニーズは高まっている。シェードツリーの存在により、コーヒー栽培は生物多様性保全や炭素固定等、気候変動緩和に貢献することが期待できるが、その効果は客観的に評価されていない。本実証では衛星画像を用いて **1) 生産量や病虫害を検出する生育診断指標の開発**、及び **2) 気候変動緩和への貢献度を定量的に評価**することで、気候変動のリスク管理および持続可能な調達の実現を目指す。

プロジェクト詳細(図表等を用いて説明)

【現状・課題】

- **気候変動による栽培環境の変化。**
- **非財務情報開示の世界的な動向。**
- **Eシカル消費のニーズ増大。**
- **コロナ禍で現地農園指導が困難。**



- ◆ コロナ禍で海外渡航が困難な中、現地農園の栽培環境を遠隔で観測する手法の開発が必要。
- ◆ 気候変動による農場リスクや病虫害の管理など高品質化に向けた栽培手法の確立が必要。

UCCジャマイカ農園とUCCハワイ農園をPoCサイトとする



コーヒーノキのモニタリング

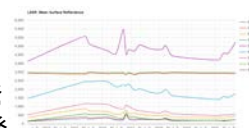


シェードツリーのモニタリング

【実証内容】

生育診断指標の開発

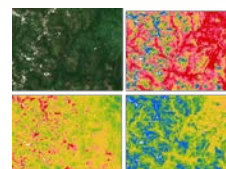
- 生産量や質をモニタリングする指標を開発
- サビ病等の病虫害を検出する技術を開発



遠隔からの生産状況の把握や病虫害の早期発見を可能にし、農園のリスク管理に役立つ

気候変動緩和指標の開発

- 周辺森林とシェードツリーの類似性評価
- 自然植生被覆の維持と管理
- シェードツリーによるCO2吸収量評価



シェードツリーの計画・管理に役立て、気候変動への貢献度を向上させる

【効果】

気候変動リスク管理

将来的な生産適地
減少箇所の予測/
代替地域の検討



ESG/SDGsの推進

認証農園取得の
推進/生産農家へ
の営農支援

カップから農園までの持続可能な活動で、コーヒー産業の発展に貢献し、世界を笑顔にする